

研修

「平成31年度福島県公立学校教職員現職教育計画」に基づき、特別支援学校、小・中学校、高等学校等の先生方に対して教員研修を行っています。

基本研修(10講座)

- 特別支援学校初任者研修(6講座)
- 特別支援学校2年次教員フォローアップ研修(1講座)
- 特別支援学校経験者研修Ⅰ(1講座)
- 特別支援学校経験者研修Ⅱ(2講座)



H30 発達障がいのある幼児児童生徒の基礎的な理解と対応
講義1「特別支援教育の最新の動向」

職能研修(7講座)

- 特別支援学級等新任担当教員研修会(小・中)
- 特別支援学級担当教員(経験三年)研修会(小・中)
- 小・中学校特別支援教育コーディネーター研修会
- 高等学校特別支援教育コーディネーター研修会
- 特別支援学校特別支援教育コーディネーター研修会
- 特別支援学校訪問教育・医療的ケア担当教員研修会
- 通級指導教室担当教員研修会(小・中)

専門研修(16講座)

各講座の詳細については、特別支援教育センターのWebサイトでご確認ください。



H30 特別支援学級等新任担当教員研修会
協議2「特別支援学級における授業検討」



H30 通常の学級で学ぶ児童生徒の多様な
学びに応じた指導の充実
演習「個々の可能性を伸ばす指導と支援」



H30 知的障がいのある児童生徒の特性と
授業づくり
演習「子どもの理解とかかわりの視点」

公開講座(7講座)

NO	実施日	講座名	講師
1	7月9日	重度・重複障がいのある児童生徒の理解と授業づくり	宮城教育大学 教授 菅井 裕行 氏
2	7月17日	学びの連続性の中で通級による指導を考える ～小・中・高におけるそれぞれの役割～	宮城学院女子大学 教授 梅田 真理 氏
3	8月19日	すべての児童生徒が輝く授業 ～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり～	福島大学 准教授 高橋 純一 氏
4	9月12日	合理的配慮を踏まえたICT機器等の活用	国立特別支援教育総合研究所 総括研究員 杉浦 徹 氏
5	9月17日	生涯にわたる支援の充実～福祉との連携～	郡山市社会福祉協議会 障がい者基幹相談支援センター 相談支援専門員 鈴木 康弘 氏
6	9月26日	発達障がいのある児童生徒のライフステージを考える	福島県発達障がい者支援センター センター長 増子 博文 氏
7	10月1日	チーム力向上のための知識・理論～OJL応用編～	立正大学 非常勤講師 小野寺 哲夫 氏
8	10月4日	ストレスで起こる病気と笑いを生かした対処法 ～チーム力向上のためのメンタルヘルスとリスクコミュニケーション～	福島県立医科大学 主任教授・健康増進センター長 大平 哲也 氏

自主研修講座(1講座:2日間実施)

NO	実施日	講座名	講師
1	7月31日	特別支援学級等担当講師のための 学級経営・授業づくり講座～基礎編～	福島県特別支援教育センター 所員
2	8月6日	特特別支援学級等担当講師のための 学級経営・授業づくり講座～基礎編～	福島県特別支援教育センター 所員

令和元年度



福島県特別支援教育センター

子どもたちの学びと 就学前から学校卒業後までの
切れ目のない支援体制づくりを支援します！



〒963-8041 郡山市富田町字上ノ台4-1
電話 024-952-6497(代)
FAX 024-952-6599
相談専用電話 024-951-5598
URL <https://special-center.fcs.ed.jp>
E-mail special-center@fcs.ed.jp

<交通案内図>



利用できるバス

◇福島交通 郡山駅前発

⑤・⑧番ポール

【バス停「百合ヶ丘団地」下車 徒歩5分】

⑤市営テニスコート経由百合ヶ丘行き

⑧下富田経由百合ヶ丘行き

【バス停「コバル前」または
「郡山インター前」下車 徒歩5分】

⑧新国道経由熱海行き

⑧夏出行き

⑧玉川経由熱海行き

⑧向原経由郡山西部工業団地行き

⑧郡山郵便局経由郡山西部工業団地
行き

◇高速バス

○福島→郡山行き

○いわき→郡山行き

○会津若松→郡山行き

※バス停「コバル前」で下車徒歩5分

自家用車の場合

○東北自動車道 郡山ICから3分

学校・地域支援

～障がいのある子どもたちが
「地域で共に学び 共に生きる教育」を推進するために～

学校や地域のニーズに応じた支援を実施し、地域における教育相談力の向上と支援体制整備を支える活動

内容

- 幼稚園・保育所、認定こども園、放課後児童クラブ等、小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校への支援
 - ・学校等のニーズに応じた支援を、研修会やケース検討会等を通して行います。
- 地域における支援体制づくりへの支援
 - ・地域の関係機関(医療・保健・福祉・教育・労働等)と連携しながら、支援のためのネットワークを作り、継続的・総合的に支援できる体制を整えます。
 - ・地域における「相談支援ファイル」や「個別の教育支援計画」等の作成と積極的な活用を支援します。



地域や学校の取組を支援します！

図書

図書の閲覧・貸し出しを行っています。

どなたでも
ご利用
いただけます！

特別支援教育に関する書籍や雑誌を用意しております。

- 図書室開室日 祝祭日を除く月～金曜日 9:00～17:00
- 貸出方法 直接来所の上、申し込みをしてください。
- 返却方法 持参または郵送にて返却してください。



Webサイト

特別支援教育の情報満載！

- 教材・支援機器ポータル
 - ・障がい種/診断名、学校・学級、教科などにより教材や使い方を検索できます。
- コーディネートハンドブック
 - ・「短時間」「すぐ使える情報」「具体的な知識と実践」をポイントに作成しています。
 - ・タイトルをクリックするだけで必要な情報が手に入ります。

※ダウンロード可能

特別支援教育センターWebサイトをご覧ください。

- ・ 研修講座案内
- ・ 刊行物、データベース等
- ・ 最新の特別支援教育の動向

URL <https://special-center.fcs.ed.jp>



相談者の思いや願いに寄り添い、
健やかな成長を促す教育相談

☆相談の**秘密は厳守**します。

☆相談費用は**無料**です。

内容

障がい等の心配のある乳幼児、児童生徒についての

- 家庭での養育等に関する事
- 幼稚園、保育所、認定こども園、放課後児童クラブ等、
小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校での
生活や学習に関する事
- 就学や進路等に関する事
- 関係機関との連携に関する事 等



【申し込み】

(月曜日～金曜日 9:00～17:00)

相談専用 024-951-5598

来所による相談時間

火曜日～金曜日

- ① 9:00～10:00
- ② 10:30～11:30
- ③ 13:30～14:30
- ④ 15:30～16:30

事前に予約をお願いします。



相談に関するQ&A

Q1:どのような人が相談できるのですか？

A:子どもの教育に関係する方々であれば、どなたでも大丈夫です。
保護者、教員、支援員等の方々も相談することができます。

Q2:特別支援教育センターで、障がい等の診断はできますか？

A:医療機関ではありませんので、診断はできません。

Q3:他の機関と連携していますか？

A:同じ建物内にある総合療育センター、発達障がい者支援センターをはじめ、保健福祉の様々な機関や県内の市町村教育委員会・各教育事務所・特別支援学校とも連携をしています。

調査研究・教育研究

本県のインクルーシブ教育システム推進に向けて、さまざまな調査や研究を行っています。

- 発達障がいの可能性のある児童生徒を含む特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査研究
- 知的障がいのある児童生徒を教育する特別支援学校における各教科の指導の充実
～新学習指導要領を踏まえた児童生徒の自立と社会参加に向けた資質・能力の向上を目指す実践研究～